

特集：入学

大学生として

濱 健夫（筑波大学 生命環境学群生物学類長）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。生物学類の教職員を代表して、心よりお祝い申し上げます。高校から大学への進路の選択は、人生の方向性を決める最も大事なステップとなります。そのステップで生物学への道を選んでいた皆さんを、私たちの仲間としてお迎えできることを、大変うれしく思います。

皆さんの多くは、「いきもの」の面白さに惹かれて生物学を志したと思います。「いきもの」を見ること、触ること、集めることは、「いきもの」ってすごいな、すばらしいな、と感じさせてくれます。そのような経験の中から、「なぜ？」という疑問が芽生え、そして「どのように？」と発展し、「いきもの」に潜む無数の因果関係を解き明かそうとすることにより、「学」を加えることができます。これまで皆さんが学んできた「生物」は、現在まで蓄積してきた「生物学」に関する知見を学ぶことでした。それは、過去の研究者達が見いだした生物についての因果関係を学ぶことであり、いわば答えの用意された勉強であったと言えるでしょう。もちろん、これまでの知見を、より高度に、より詳細に学ぶことは、大学の生物学の教育において中心をなすものであり、更なる発展を遂げる上でも、必要なことです。ただ、それに満足せず、「生物」を創りあげている世界、そして「生物」により創りあげられている世界に潜む新たな因果関係、法則性を見いだすべく、目を凝らしてほしいと思います。

大学では、もちろん勉学が最優先となりますが、その他の多くの経験も、皆さんの人としての価値を高めるために、大変重要です。その一つはチトとのつながりでしょう。大学では、多くの人と出会います。クラスメート、先輩、後輩、サークルの仲間、教職員と、特に入学してから1、2ヶ月間は日々が常に新たな出会いといってよいでしょう。高校生の時とは異なり、人との交流は日本全国に広がり、また、時には世界に広がることもあると思います。是非、多くの人に声をかけてみてください。人に話しをし、そして人の話を聞くことは、豊かな人間性を育む基本となります。生物の話でも良いですし、好きな音楽やスポーツなどの話でも結構です。きっと話しが盛り上がる人が見つかるでしょう。でも、時には、人の言葉に傷つくことや、孤立感に悩まされることもあると思います。それは、あなたに特別のことではありません。大なり小なり、皆が感じることです。そんな時には、クラス担任の先生、授業等を担当する先生、そして学類長でも結構ですから、相談してみてください。きっと何かプラスとなることと思います。

さて、生物学類では、生物学オリンピック、SSリーグ、SCOUTなどの生物学振興に向けた多くの社会貢献的な活動を行っています。また、大学説明会、筑波生物ジャーナルの刊行など、学生の皆さんの協力を得ながら進めている活動も多くあります。このような活動を通して、生物学、そして生物学類の活動を、広く社会にアピールすることは、「生物学」を選んだ私たちがすべきことの一つだと思います。授業で見かける学生さんの表情とは違い

(?)、行事に参加している学生さんの生き生きとした表情、そして責任感のある態度を見ていると、本当に頼もしく思えます。活動を通して教員・職員との交流もふくらみますから、是非、協力をお願いします。

皆さんの将来に向けて、大学生活が有意義であることを望みます。明日できることは今日やらなくてもかまいません。「大学生の今だからできること・やらなくてはいけないこと」、「あなただからできること・やらなくてはいけないこと」を見つけてください。期待しています。

Contributed by Takeo Hama, Received May 17, 2012.